



平成28年8月8日
国土交通省中部地方整備局
木曾川上流河川事務所

長良川 9.12豪雨災害(安八豪雨)から、今年で40年 ～ シンポジウムとパネル展を開催します ～

昭和51(1976)年、岐阜県安八町での堤防決壊などにより長良川沿いに広く浸水被害をもたらした「9.12豪雨災害」から、今年で40年がたちます。

当時の被害や経験を未来に継承し、地域の防災力向上につなげるため、当事務所が中心となって、「防災シンポジウム」と「リレーパネル展」を開催します。

昭和51(1976)年の9.12豪雨災害では、長良川の堤防が岐阜県安八郡安八町大森で決壊したことにより氾濫した水が広範囲に及びました。また岐阜市や大垣市など、長良川沿いを中心として県内各地にも浸水被害が広がりました。

9.12豪雨災害から今年で40年がたちます。当時災害を経験された方々が高齢化するとともに、この災害を知らない世代も増えています。こうした中、当時の被害や経験を未来に継承するとともに、地域の防災力向上につなげていくことが大切です。

そこで、当事務所が中心となって長良川沿いの市町等と協働し、以下のとおり防災シンポジウムとリレーパネル展を開催します。多くの方のご来場をお待ちしております。

■ 防災シンポジウム

- (主催：当事務所、共催：岐阜県・安八町・岐阜地方気象台、後援：中部地域づくり協会)
- ・日時：9月12日(月) 13:30～16:30(開場 13:00)
- ・場所：安八町 中央公民館(岐阜県安八郡安八町南今ヶ淵 400)
- ・入場無料、事前申し込み必要 [※内容などの詳細は別添チラシをご覧ください](#)

■ リレーパネル展

- (主催：当事務所、共催：岐阜県・岐阜市・瑞穂市・羽島市・大垣市・海津市・桑名市・安八町・輪之内町・岐阜地方気象台)
- ・日程：8月10日(水)から順次開催 ・場所：上記各市町内の10以上の施設
- ・入場無料 [※内容は別添のチラシ裏面を、また日程・場所は「別紙」をご覧ください](#)

【添付】防災シンポジウムチラシ、別紙(リレーパネル展日程)

【解禁】指定なし 【配布先】岐阜県政記者クラブ

【問合せ】木曾川上流河川事務所 副所長・戸谷、調査課長・鈴木

電話 058-251-1321(代表) FAX 058-251-1150

〒500-8801 岐阜市忠節町 5-1

※防災シンポジウムの応募については、別添チラシの問合せ先をお願いします

※リレーパネル展の会場等については、「別紙」の各機関の問合せ先をお願いします



防災シンポジウム

～長良川9.12豪雨災害(安八豪雨)から40年～

2016年9月12日(月)

13:30～16:30(開場13:00)

安八町中央公民館(安八郡安八町南今ヶ淵400)

入場無料
先着400名

事前申し込みが必要です。
裏面をご覧ください。

9.12豪雨災害の教訓

うねるような濁流が人命を、家を、田畑を飲み込んだ1976(昭和51)年の「9.12豪雨災害」から今年で40年がたちます。高度経済成長を遂げ、人間は万能だと錯覚してしまうような時代の空気を切り裂くように、自然は猛威を振るいました。

長良川が安八郡安八町大森の右岸で破堤したのをはじめ、岐阜市や大垣市、旧山県郡や本巣郡など県内各地に浸水被害が広がりました。県内全体では死者8人、7万5485棟の家屋が半壊や床上・床下浸水に遭いました。

県史に類を見ないこの水害は、私たちに何を語りかけているのでしょうか。私たちはそこから何を学ぶことができるのでしょうか。昨年は、関東・東北豪雨で茨城県常総市の鬼怒川の堤防が決壊するなど、異常降雨が頻発する昨今、つらい記憶を忘れることなく、災害への備えを確かめてみましょう。



プログラム

プロローグ

9.12水害を振り返る

- スライド・映像上映
- 被災体験談の発表

基調講演①

「天気予報の活用術
～大雨から身を守るために～」

- 気象キャスター 菊池真以



基調講演②

「水災害への備えのあり方
～河川整備や広域連携とその限界～」

- 名古屋大学名誉教授 辻本哲郎



パネルディスカッション

「災害に強い地域づくりに向けて」

■ パネリスト

- 菊池真以(気象キャスター)
- 辻本哲郎(名古屋大学名誉教授)
- 堀正(安八町長)
- 大澤健治(木曾川上流河川事務所長)

■ コーディネーター

- 野村克之(岐阜新聞社西濃支社長)

同時開催 リレーパネル展

※詳細は裏面

講師略歴



気象キャスター 菊池真以

茨城県出身。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。大学在学中に民間の気象会社でお天気キャスターを務め、その後、東海テレビやNHK大阪放送局などの気象キャスターに。2015年4月からNHK「ニュース7」土・日・祝日の気象キャスターを務めている。



名古屋大学名誉教授 辻本哲郎

京都大学大学院工学研究科博士課程取得。京都大学、金沢大学を経て名古屋大学へ。2015年名古屋大名誉教授。現在、応用生態工学会会長、土木学会水工学委員会顧問、河川情報センター河川情報研究所所長を務めるほか、国の審議会や委員会・研究会などの要職多数。専門は河川工学・土砂水理学。

防災シンポジウム申込方法

参加希望の方は、郵便番号、住所(参加証送付先)、氏名、年齢、職業、電話番号、会場直行バス(下記)ご利用希望の方は下記①か②をご記入の上、ハガキ、FAX、またはメールを利用して、お申し込みください。

※定員(400名)になり次第、締切らせていただきます。※参加者には、折り返し「参加証」をお送りいたします。当日受付にて「参加証」をご提示のうえご入場いただけます。※応募者の個人情報は「参加証」の発送など、当シンポジウムの運営のみに使用します。

●締め切り **9月7日(水)必着**

●お申し込み先

岐阜新聞広告局「防災シンポジウム」係

ハガキ 〒500-8577 (住所不要)

FAX 058-263-7659 (24時間受付)

MAIL bousai@gifu-np.co.jp

●お問い合わせ

TEL 058-264-1158 (日祝除く9:00~17:00)



岐阜県安八郡墨俣町※現大垣市墨俣町(昭和51年9月)

同時開催 リレーパネル展

9.12豪雨災害を写真や新聞記事、体験談などで振り返り、その後の40年の河川事業の歩みや今後の展望などを紹介するパネル展を長良川沿江市町で開催します。

※詳細は木曽川上流河川事務所ホームページでご確認ください。

●会場直行バス(要事前申込)

	往	復
①岐阜羽島駅～安八町中央公民館	13:00発	16:50着(会場16:40発)
②JR大垣駅～安八町中央公民館	12:50発	17:00着(会場16:40発)



応募に関する問い合わせ/応募・郵送先 岐阜新聞広告局 〒500-8577 岐阜市今小町10 TEL058-264-1158 FAX058-263-7659

内容に関するお問い合わせ

国土交通省木曽川上流河川事務所調査課 〒500-8801 岐阜市忠節町5-1
TEL058-251-1125 FAX058-251-1150

長良川9. 12豪雨災害(安八豪雨)40年 リレーパネル展

展示期間(予定)	会場	問い合わせ先	備考
8/10~8/23	岐阜県立図書館 休:月曜日	岐阜県 河川課 058-272-8593	パネルの内容についてのお問い合わせは 木曽川上流河川事務所 調査課 058-251-1125
8/10~9/11	ハートピア安八 休:月曜日	安八町 総務課 0584-64-7100	
8/18~8/29	ハートフルスクエア-G (JR岐阜駅高架下)	岐阜市 水防対策課 058-214-4854	
8/24~9/19	瑞穂市総合センター アトリウム	瑞穂市 都市開発課 058-327-2101	
9/12	安八町中央公民館 防災シンポジウム(13時開場)	安八町 総務課 0584-64-7100	
9/14~9/26	不二羽島文化センター 休:火曜日	羽島市 都市計画課 058-392-9926	
9/21~10/3	大垣市役所ロビー 休:土・日曜日、祝日	大垣市 管理課水防グループ 0584-47-8516	
10/5~10/24	輪之内町立図書館 休:月曜日	輪之内町 危機管理課 0584-69-3111	
11/2~11/15	海津市役所通路の壁 休:土・日曜日、祝日	海津市 建設課 0584-53-1425	
11/16~11/29	桑名市役所市民ラウンジ 休:土・日曜日、祝日	桑名市 土木課 0594-24-1212	
11/9~11/23	木曽三川公園 水と緑の館 休:第2月曜日	木曽川下流河川事務所 調査課 0594-24-5715	長良川サービスセンターと 木曽川下流河川事務所ロ ビーでも展示します。
9/28~12/13	木曽川上流河川事務所ロビー及び ダム統管ロビー廊下 休:土・日曜日、祝日	木曽川上流河川事務所 調査課 058-251-1125	